



インタビュー

茂木町
山田 和豊さん
桜菜さん

家族みんなで取り組む 環境を大切にする生活

環境を大切にしようという意識が高まったのは、3人の子どもたちが小さい頃から家族みんなで畑に出て野菜作りをしてきたからです。家族で同じ体験をしたいという思いから始めました。グリーンカーテンにも6年前から取り組んでいて、その効果を研究し「まえばし水と緑の環境賞」をいただきました。他にも、環境のために古紙のリサイクルや生ごみの肥料化などに家族で取り組んでいます。みんなで楽しむことがエコな生活を続けるコツだと思いますよ。



ご存知ですか？プラマーク

プラスチックは、プラ容器と可燃ごみに分別し、それぞれの収集日に出してください。どちらに出すか迷ったら、このマークを確認。お菓子の小さな袋にもこのマークが付いています。また、マークが付いていても汚れが簡単に落ちないものは、可燃ごみに出してください。

人や環境に優しい心掛けを

ごみの焼却に関する苦情が多く寄せられています。野外でのごみの焼却は法律で原則禁止されています。焼却行為は環境を汚染するだけでなく、周りの人の迷惑となるのでやめてください。

また、春から夏にかけて農業用水路や河川への油類の流出通報が多く寄せられます。河川の水は水道水や農業用水など、幅広く利用されています。下流域の人たちの生活や農作物に影響を与えることがないように、油類の取り扱いには十分注意を。水路や河川に油が浮いていた場合には、環境政策課へ連絡してください。



ごみを減らして 美しい地球を未来へ

6月は環境月間 6月5日は環境の日

問い合わせは 環境政策課 ☎ 898-6292

近年、地球温暖化が叫ばれ、早急な対策が必要となっています。また、昨年の東日本大震災以降、環境に優しい電力の在り方、使い方が求められています。今、私たちは環境問題と真剣に向き合い、未来のことを考えなければいけない時期に直面しています。ごみの減量など一人一人ができることを積み重ね、力を合わせて取り組みましょう。

ストップ地球温暖化

減らそう温室効果ガス

「水と緑と詩のまち」である本市には、豊富な水量を誇る利根川や広瀬川、緑豊かな赤城山など、豊富な環境資源があります。こうした素晴らしい環境を未来に引き継いでいくために、市民・事業者・行政が心を一つにして地球温暖化問題に取り組んでいかなければなりません。地球温暖化の主な原因といわれているのが、二酸化炭素などの温室効果ガスです。本市では「前橋市地球温暖化防止実行計画」を3月に策定。具体的な数値目標を定め、温室効果ガス削減を実現するために取り組んでいきます。

削減目標

平成32年度までに温室効果ガスの排出量を平成21年度の220万8,000トに比べ11%削減。

〈部門別目標値〉

- ・ 民生部門（家庭）△20・1%
- ・ 民生部門（業務）△16・3%
- ・ 産業部門△0・2%
- ・ 運輸部門△13・3%
- ・ 廃棄物部門△28・0%

低炭素社会実現のために

本市は豊かな環境資源のほかにも、「日照時間が長い」という特性がある。

ります。こうした特性も生かしながら、二酸化炭素排出量の少ない低炭素社会を構築していきます。

〈本市の目指す将来像〉

- ・ 地域特性を生かした再生可能エネルギーの普及したまち
- ・ 省エネルギー型ライフスタイルの定着したまち
- ・ 緑あふれる自然と調和のとれたまち
- ・ 資源を有効活用し循環するまち
- ・ 環境にやさしい交通を目指したまち

環境再生のための基金

ことし、地球温暖化対策や震災などで被害を受けた地域の環境再生などを推進するため、「前橋市絆でつなぐ環境基金」を創設。皆さんからの寄付金も受け付けています。

プロジェクトチームを発足

本市では、環境に優しい新エネルギーについて検討するプロジェクトチームを4月に発足しました。豊かな自然と環境を生かした自然エネルギーの導入を検討し、設備の設置を促進していきます。

省エネの取り組み

ことしも節電にご協力を

昨年同様、ことしの夏も電力の供給量が不足する恐れがあります。

電気の使い方をもう一度見直し、省エネルギー型ライフスタイルを推進しましょう。

- ・ 必要のないものは消す
- ・ 電気機器のつけっぱなしはやめましょう。また、長時間使用しない機器はプラグを抜きましょう。
- ・ 設定温度を調節する
- ・ 冷房は28度を目安に設定を。冷蔵庫は詰め込み過ぎないようにし、ドアの開閉を減らすようにしましょう。
- ・ グリーンカーテン
- ・ ゴーヤやアサガオなどで壁や窓を覆い日差しを遮る緑のカーテン。自然の力を活用して涼しい夏を。

電気の見える化が効果的

節電は目に見えない電気を「見える化」することで、より効果的に行えます。本市では使用機器ごとに消費電力量や電気使用料、二酸化炭素排出量を表示する「エコワット」の貸し出しを行っています。また、県地球温暖化防止活動推進センター（☎237-1103）では、10種類の項目を測定できる「ワットチェッカー」を、県中部環境事務所（☎219-2020）では消費電力の総量などを測定できる「省エネナビ」を貸し出しています。詳しくは各事務所に問い合わせください。

家族で取り組む環境保全

環境に優しい取り組みを考え、それを実行する家族を「まえばし環境家族」として認定します。申込書の配布は市立の小中学校、市役所、各支所・市民サービスセンターなどで。

分別は地球への思いやり

ごみを焼却する際にも温室効果ガスは発生します。特にプラスチックなどの石油製品からは、大量の二酸化炭素が。商品の容器や包装に使われているプラスチックは分別し、リサイクルしましょう。

また、可燃ごみには紙ごみがたくさん含まれています。古紙のリサイクルは、二酸化炭素を吸収してくれている森林の保護にもつながります。

ごみを出さない生活を

正しい分別と合わせて、ごみを出さない生活を始めませんか。「マイバックやマイ箸を使う」「賞味期限を把握して食品を無駄にしない」「食卓ではふきんを使いティッシュペーパーの使用を控える」など、誰でも簡単にできる取り組みで、ごみの量は減らせます。

一人一人の取り組みは小さくても、みんなでやると大きな成果にご協力をお願いします。